

英国王立音楽院オルガン科主任教授

ティッターリントン オルガン・リサイタル

HEAD OF ORGAN AT ROYAL ACADEMY OF MUSIC

PROF. DAVID TITTERINGTON ORGAN RECITAL



D. ブクステフーデ (ca. 1637-1707)

《トッカータ》ニ調 BuxWV 155

J. S. バッハ (1685-1750)

《おお、神の小羊、罪なくして》BWV 656

J. ネアズ (1715-1783)

《イントロダクションとフーガ》イ短調/イ長調

S. ウェズリー (1766-1837)

《ヴォランタリー》ニ長調 KO 623

J. C. H. リンク (1770-1846)

《コレッリの主題による6つの変奏曲》作品56

E. エルガー (1857-1934)

《オルガン・ソナタ第1番》ト長調 作品28より〈第1楽章〉

W. バード (1543-1623)

《私のネヴェル夫人の曲集》より〈ファンシー〉

H. ハウエルズ (1892-1983)

《タリス師の遺言》

J. ブラームス (1833-1897)

《前奏曲とフーガ》イ短調 WoO 9

P. エベン (1929-2007)

《ヨブ》より〈来ませ、造り主なる聖霊の神よ〉

《聖日曜日の音楽》より〈モート・オスティナート〉

3月7日(水)発売

2018年4月22日(日) 15:00開演 (14:30開場) 14:35~プレトーク
(通訳付き)

東京藝術大学奏楽堂 [大学構内] 全席自由 2,000円

※スケジュール・曲目・出演者等は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。
※就学前のお子様同伴・入場はできませんので、ご了承ください。

チケット取扱い

東京芸術大学生協同組合 (店頭販売のみ) TEL: 03-3828-5669
ヴォートル・チケットセンター TEL: 03-5355-1280 <http://ticket.votre.co.jp>
チケットぴあ TEL: 0570-02-9999 <http://t.pia.jp> (Pコード: 109-672)
東京文化会館チケットサービス TEL: 03-5685-0650 <http://www.t.bunka.jp/ticket>
イープラス (e+) <http://eplus.jp>

お問い合わせ

東京藝術大学演奏芸術センター TEL: 050-5525-2300
東京藝術大学ホームページ <http://www.geidai.ac.jp>

主催: 東京藝術大学音楽学部・東京藝術大学演奏芸術センター

DAVID TITTERINGTON at ST. JOHN'S SMITH SQUAR

ティッターリントン オルガン・リサイタル

英国を代表するオルガニスト、デイヴィッド・ティッターリントン教授をお迎えします。ティッターリントン教授は、由緒ある英国王立音楽院のオルガン科の主任教授ですが、ロンドン大学でも教鞭を執られ、学識も備えた守備範囲の広いオルガニストです。その幅広いレパートリーには、母国英国の作品はもちろん、フランスの古典・近現代、ドイツ・バロックなどのほか、コンテンポラリー作品も多数含まれ、特に直接師事されていたチェコのP. エベン(1929-2007)の作品演奏は高い評価を受けていらっしゃいます。

今回は、彼の全てを味わえる渾身のプログラムを用意していただきました。ルネサンスのW. バード(1543-1623)やバロックのJ. ネアズ(1715-1783)、古典派からロマン派への移行期のS. ウェズリー(1766-1837。メソジスト派の牧師や教会音楽家を多数輩出している家系)、ロマン派のE. エルガー(1857-1934)、近現代のH. ハウエルズ(1892-1983)と英国音楽を俯瞰するプログラムを軸に、ドイツ・バロック、ロマン派から現代チェコのエベンまでを散りばめた、実に多彩なラインナップです。東京藝術大学奏楽堂のガルニエ・オルガンをどのように鳴らしてくれるのか、とても楽しみです。今回の来日での演奏会は、奏楽堂のみとなります。お聴き逃しのないように、どうぞおいでください。

廣江 理枝 (東京藝術大学音楽学部器楽科オルガン専攻主任・教授)



デイヴィッド・ティッターリントン — オルガン

Prof. David Titterington — Organ

ティッターリントンは、1996年以来、英国王立音楽院 Royal Academy of Music (=RAM。1822年創立。1830年より現名称)オルガン科主任で、セント・オーバンス国際オルガン・フェスティバル芸術監督などを務める英国オルガン界の重鎮。オックスフォード大学でオルガンを学んだ後、パリでM.=C.アランに師事。リュエイユ=マルメゾン・フランス地方音楽院でS. ランデルに学び、満場一致で一等賞を受賞。さらにプラハでオルガンの即興演奏で知られる作曲家P.エベンのもとで研鑽を積んだ。1986年ロイヤル・フェスティバル・ホールでリサイタル・デビュー、1990年ロイヤル・アルバート・ホールでBBC主催の夏の音楽祭「プロムス」にデビュー。以来、国内外で演奏を重ね、ロイヤル・フェスティバル・ホール50周年のリサイタル・シリーズにつづき、2009年には「プロムス」における2度目のリサイタル(エルガーとP. ディキンソンのみのプログラム)を行う。現代ものを得意とし、M. カーゲル(1931-2008)、S. モンタギュー(1943-)、D. バレル(1948-)らの作品の世界初演をはじめ、1998年にはO.メシアン(1908-1992)のオルガンのための《聖体秘跡の書》のニュージーランド初演、2000年にはBBC交響楽団とH. W. ヘンツェ(1926-2012)の《交響曲第9番》の英国初演に参加。教育者としては、ブダペストのリスト音楽院と英国のハダースフィールド大学の客員教授(名誉博士)を兼任し、2017年11月にはロンドン大学教授に指名された。英国王立音楽院名誉会員、ケンブリッジ・シドニー・サセックス大学特別研究員。日本には昨年の武蔵野市国際オルガン・コンクール審査員につづき、東京藝術大学音楽学部特別招聘教授として、学生の指導とリサイタルのために来日する。

東京藝術大学奏楽堂 [大学構内]

〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8

交通のご案内

■JR 上野駅(公園口)・鶯谷駅(南口)、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩 10分

■京成線京成上野駅、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅より徒歩 15分

■台東区循環バス「東西めぐりん」谷中行き

① 上野駅入谷口臨時バス停(東京芸術大学経由)⇒ ⑤-1 東京芸術大学下車 [30分間隔]

※駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

